

新型 BMW 3 シリーズ セダン 目次



市場導入時のモデル・バリエーション	2
-------------------------	---

車両コンセプトおよびデザイン

スポーツ・セダンを定義し直す	4
----------------------	---

エンジン、トランスミッション、BMW xDrive

「駆けぬける歓び」を最大限に味わえる力強さと効率の良さ	8
-----------------------------------	---

サスペンション・テクノロジーおよびドライビング・エクスペリエンス

スポーティさと快適性との絶妙なバランス.....	14
--------------------------	----

インテリアおよび装備品

洗練されたプレミアムな雰囲気、革新的なオプションの数々	19
-----------------------------------	----

ドライバー・アシスタント・システム

自動運転に向けて歩む道	23
-------------------	----

表示および操作システム、BMW コネクテッドおよびコネクテッド・ドライブ

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントが初登場.....	26
------------------------------------	----

新型 BMW 3 シリーズ セダン

市場導入時のモデル・バリエーション



BMW 320i:

直列 4 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 1,998 cc、最高出力: 135 kW[184 ps]/5,000~6,500 rpm
最大トルク: 300 Nm/1,350~4,000 rpm
加速性能[0-100 km/h]: 7.2 秒
最高速度: 238 km/h
複合モード燃費*: 6.0~5.7 リッター/100 km
複合モード CO₂ 排出量*: 137~129 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW 330i:

直列 4 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 1,998 cc、最高出力: 190 kW[258 ps]/5,000~6,500 rpm
最大トルク: 400 Nm/1,550~4,400 rpm
加速性能[0-100 km/h]: 5.8 秒
最高速度: 250 km/h
複合モード燃費*: 6.1~5.8 リッター/100 km
複合モード CO₂ 排出量*: 139~132 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW 318d:

直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、6 速マニュアル・トランスミッション(オプション: 8 速ステップトロニック・トランスミッション)
排気量: 1,995 cc、最高出力: 110 kW[150 ps]/4,000 rpm
最大トルク: 320 Nm/1,500~3,000 rpm
加速性能[0-100 km/h]: 8.5 秒(8.4 秒)
最高速度: 226 km/h(222 km/h)
複合モード燃費*: 4.5~4.2 リッター/100 km(4.4~4.1 リッター/100 km)
複合モード CO₂ 排出量*: 120~112 g/km(116~108 g/km)
排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW 320d:

直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、6 速マニュアル・トランスミッション(オプション:8 速ステップトロニック・トランスミッション)

排気量: 1,995 cc、最高出力: 140 kW[190 ps]/ 4,000 rpm

最大トルク: 400 Nm/1,750~2,500 rpm

加速性能[0-100 km/h]: 7.1 秒(6.8 秒)

最高速度: 240 km/h(240 km/h)

複合モード燃費*: 4.7~4.4 リッター/100 km(4.5~4.2 リッター/100 km)

複合モード CO₂ 排出量*: 122~115 g/km(117~110 g/km)

排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW 320d xDrive:

直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション、BMW xDrive

排気量: 1,995 cc、最高出力: 140 kW[190 ps]/ 4,000 rpm

最大トルク: 400 Nm/1,750~2,500 rpm

加速性能[0-100 km/h]: 6.9 秒

最高速度: 233 km/h

複合モード燃費*: 4.8~4.5 リッター/100 km

複合モード CO₂ 排出量*: 125~118 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW 330d:

直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション

排気量: 2,993 cc、最高出力: 195 kW[265 ps]/4,000 rpm

最大トルク: 580 Nm/1,600~3,000 rpm

加速性能[0-100 km/h]: 5.5 秒

最高速度: 250 km/h

複合モード燃費*: 5.2~4.8 リッター/100 km

複合モード CO₂ 排出量*: 136~128 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

* 性能、燃費/電力消費量、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

燃費、CO₂排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格(EU)2007/715に既定されている測定法に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール/タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

数値は、新しいWLTPテスト・サイクルに基づく測定値を比較のためNEDCに換算したものです。これらの車両については、税その他のCO₂排出量が考慮される課金の評価に際して、ここに示した値とは異なる数値が該当することがあります(国別法規によって異なります)。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über Kraftstoffverbrauch, die -Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen)に記載されています。この資料はすべての販売店、DAT (Deutschen Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str.1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen, Germany)、<https://www.dat.de/co2/>から無料で入手できます。

車両コンセプトおよびデザイン スポーツ・セダンを定義し直す



BMW 3 シリーズ セダンは 40 年以上にわたり、世界中でプレミアム・ミドルクラスのスポーティな駆けぬける歓びを表現し続けているモデルです。このモデル・シリーズは、躍動感あふれるデザイン、俊敏なハンドリング、模範的な効率性、革新的な装備品の数々によって BMW ブランド特有のキャラクターを極めて濃厚に体現しています。そのため世界中で 1 千 500 万台もの販売実績を誇るこのノッチバック・モデルは、BMW 3 シリーズだけでなく BMW ブランドの中核をなすモデルになっています。初代 BMW 3 シリーズがデビューしたのは 1975 年のことですが、このときスポーツ・セダンという車両カテゴリーが生まれました。それ以来今日に至るまで、このコンセプトは BMW 3 シリーズが BMW ブランドで最高のヒット・モデルとなり続けるための原動力となっています。さらに、過去六世代を通じて BMW 3 シリーズは世界で最も多く販売されたプレミアム・カーであり、高性能パワートレインおよびサスペンション・テクノロジーの先駆者であり、そしてミドルクラスにおける革新的テクノロジーの先駆者の地位を独占してきました。BMW は、サーキットで数々の栄光を刻んだこのモデル・シリーズのモータースポーツの伝統を、この新世代モデルにも注ぎ込みました。この第七世代のスポーツ・セダンは、運動性能において、またプレミアム・ミドルクラスにおける品質と革新性においても新たな基準を確立します。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの初披露の舞台は、2018 年にフランス・パリで開催されるモンディアル・ド・ロトモビル(パリ・モーターショー)になります。この 2018 年 10 月の初の公式発表に続き、2019 年 3 月 9 日には世界同時発売となります。BMW 3 シリーズ セダンは、初代モデル以来、変わらず BMW ミュンヘン工場で製造されています。当社のこの基幹工場は、同モデルの新型車が誕生する場所でもあります。このモデルの製造は、戦略的ガイドラインに従ってマーケットごとに決められますが、その中でさらに 2 つの生産拠点が確定しました。中国・瀋陽では、中国市場向けニュー BMW 3 シリーズ セダンを製造します。現地の BMW ブリリアンス・オートモーティブ(BBA) 合併会社によって運営される鉄西工場では、今までも BMW 3 シリーズ セダンを製造していました。さらなる生産拠点として、2019 年以降、メキシコに新設する BMW サン・ルイス・ポトシ工場が加わります。

エクステリア・デザイン: スポーティなパフォーマンスを約束する明確かつ正確なシグナル

新型 BMW 3 シリーズ セダンのエクステリア・デザインでは、精密なラインと表現力豊かに構成されたサーフェスの組み合わせが、現代的な解釈を加えたスポーティな美しさをもたらしています。新しいデザイン手法では、明確かつ純粋な方法でこのクルマのダイナミックなキャラクターを表現しています。ボディ・サイズは先代モデルよりも全長が 85 mm 増えて 4,709 mm に、全幅は 16 mm 増えて 1,827 mm に、また全高はわずかに 1 mm 増えて 1,442 mm となり、新型 BMW 3 シリーズ セダンにダイナミックで伸びやかなプロポーションと力強いフォルムをもたらしています。41 mm 拡大して 2,851 mm となったホイールベースと、フロントが 43 mm、リヤが 21 mm 拡大したトレッドが、卓越した俊敏な走りに直接影響を及ぼしています。

新型 BMW 3 シリーズ セダンのフロント・エンドもそれに応じてワイドでフラットになり、スポーティな印象を強めています。ひとつのフレーム内にまとめられ、幅の広いバーで 2 つに分割された大きな BMW キドニー・グリルは、ヘッドライト・ユニットに隣接するように配されています。BMW ブランドの特徴である片側 2 灯式ヘッドライトは技術的に改良され、新たな解釈により見た目にも小さくなり、路面に集中するまなざしを表現しています。フロント・エプロンからヘッドライトの輪郭に切れ込む独特な造形により、特徴的な 2 眼デザインがさらに強調されています。新型 BMW 3 シリーズ セダンは、フル LED ヘッドライトを標準装備しています。また、より機能が拡張され、U 字型のデイ・ランニング・ライトを装備した LED ヘッドライトがオプションで用意されています。また同じくオプションとして BMW レーザー・ライトを装備したアダプティブ LED ヘッドライトがあり、これは六角デザインのデイ・ランニング・ライト・リングと、内部の 2 つの光源にブルーの L 字型エレメントがあることで識別できます。エンジン・フードには BMW キドニー・グリルへと向かう 4 本の輪郭線があります。このラインの延長線は、ヘッドライト上部のコーナーと BMW キドニー・グリルの 1 つのコーナーに正確に一致します。フロント・エプロンは、大柄で現代的なサーフェス構成となっています。オプションのフォグライトとエア・カーテンは左右外側のエア・インテークに組み込まれており、標準仕様、スポーツ・ラインおよびラグジュアリー・ラインのエア・インテークは横に倒した T 字型をしています。このデザインは、もともとはアメリカ航空諮問委員会 (NACA) が航空機のジェット・エンジンの吸気口用に開発したもので、後に往年のレーシング・カーの特徴にもなりました。

ロング・エンジン・フード、ロング・ホイールベース、ショート・オーバーハング、そしてエレガントに流れるルーフ・ラインが、サイド・ビューにダイナミックなキャラクターを与えています。ドア・ハンドルの高さを後方へ向かうにつれて上昇してゆく 2 本のキャラクター・ラインが、ボディ・サイドに前へ前へと進む印象をもたらしています。サイド・シル周りのダイナミックなアウトラインは、見る者の視線を力強いフォルムのリヤ・ホイールハウスへと導きます。ホフマイスター・キンクとして知られているサイド・ウインドウ後端部のデザインにも、極めて印象的なデザインが施されています。特徴的な端部のデザインが初めて C ピラーに食い込むように統合されたため、リヤ・ドアのガラス端部がむき出しになりました。

くっきりとした造形と精密なラインで構成するという新たなデザイン手法は、サイドからリヤ・エンドへと続く部分にもはっきりと現れています。スタイリッシュにサイド・スカートからリヤ・エプロンへと移行する面の輪郭線はそのまま向きを変えて上昇し、テール・ライトの輪郭をなぞるようにしてトランク・リッド上のスポイラー・リップへとつながっており、これがこのセダンのリヤ・エンドの逞しいアウトラインを形成しています。リヤ・エンドでは、これに加えて水平のラインと、スタイリッシュにスモーク処理されたライト・ユニットを組み込んだスリムな L 字型テール・ライトが、ワイドでどっしりとしたスタンスを印象付けます。モデル・シリーズ全体を通じて、すべての照明に LED テクノロジーを採用しています。リヤ・エプロン外側の横に倒した T 字型のトリム・エレメントはリフレクター付きライトとしての機能を持っていますが、同時に標準仕様、スポーツ・ライン、ラグジュアリー・ラインのフロント・エア・インテークのデザインを反映しています。モデル・バリエーションに応じて直径 80 mm または 90 mm のツイン・エグゾースト・テールパイプが装備され、これらもスポーティなルックスに大きく貢献しています。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの市場導入時のボディ・カラーは、ノンメタリック・カラー2 色とメタリック・カラー10 色から選択できますが、その中には新たに加わったポルティマン・ブルー・メタリックとバーモント・ブロンズ・メタリックも含まれます。その他、初めて採用される BMW Individual 塗装のドラバイト・グレー・メタリックも選択できます。

インテリア: 上質なデザインが放つスポーティな雰囲気

新型 BMW 3 シリーズ セダンのインテリアにも BMW ブランドの新しいデザイン手法が盛り込まれ、くっきりとした面構成となっています。これが広々とした空間を強調し、ドライバーを重視したコックピット配置が運転に集中できる環境を生み出しています。ダッシュボードの造形は現代的でシンプルです。水平方向のライン、上質なマット・アルミニウムのトリム・ストリップ、そしてドア周りまで延びるアウトラインが、幅の広さと優雅さを演出しています。ドア・トリム・パネルとダッシュボードのデザインは互いに調和され、高い位置に配置されたセンター・コンソールが、包み込まれるような感覚とスポーティな雰囲気を醸し出します。ダイナミックなラインとバックル・スタイルのドア・オープナーが配されたドア・トリムが、フロントとリヤに調和をもたらしています。

新デザインとなったメーター・パネルとコントロール・ディスプレイによって、広大な表示エリアが生まれました。それ以外の操作部は、機能別に明確に分けられて操作パネルに配置されています。ダッシュボードの中央部にはエア・コンディショナーのディスプレイと操作スイッチ、そして中央エア吹出し口が並び、使い勝手の良さを感じさせます。照明用スイッチは、ステアリング・ホイール横の操作パネルにまとめられています。エンジン・スタート／ストップ・ボタンは、センター・コンソールの操作パネル内に品よく納まり、ここにはシフト・レバーまたは新デザインのギヤ・セレクター・スイッチの他、iDrive コントローラー、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチと電気機械式パーキング・ブレーキ・スイッチが配置されています。

ダッシュボードとセンター・コンソールを飾るインテリア・トリムの標準仕様およびオプションの種類は、全て一新されました。高品質なオープン・ポア仕上げのファイン・ウッド・トリムの他、メッシュ・エフェクト・アルミニウム仕様も選択できます。

個性的なスタイルで工場出荷:アドバンテージ、スポーツ・ライン、ラグジュアリー・ライン、M スポーツ

新型 BMW 3 シリーズ セダンの標準仕様とは異なる装備ラインを選べば、より個性的な仕様に仕立てることができます。「アドバンテージ」の装備範囲には、ストレージ・パッケージ、自動防眩ルーム・ミラー、3 ゾーン・オートマチック・エア・コンディショナー、フロントおよびリヤ・センサー付きパーク・ディスタンス・コントロールが含まれます。さらに、ダイナミックな走りを求めるのか、あるいは 4 ドア・サルーンらしい上質なエレガントを希求するのかに応じて、エクステリアとインテリアのデザインおよび装備品を互いに念入りにアレンジした「スポーツ・ライン」、「ラグジュアリー・ライン」、「M スポーツ」といったモデル・バリエーションが用意されています。これらのモデル・バリエーションは、モデル専用デザインのフロント・バンパーおよびリヤ・バンパーを装備する他、17 インチまたは 18 インチの専用アロイ・ホイール、特製エントランス・ストリップ、および LED フォグライトを装備しています。

スポーツ・ライン・モデルでは、BMW Individual ハイグロス・シャドー・ラインのサイド・ウインドウ・フレームと、キドニー・グリル・バー、エア・インテーク、リヤ・エプロンに装着されたハイグロス・ブラックのエLEMENTによって、新型 BMW 3 シリーズ セダンの俊敏なキャラクターを強調しています。スポーツ・ラインのインテリアにはハイグロス・ブラックのインテリア・トリム・ストリップ、運転席と助手席にスポーツ・シートを備え、駆けぬける歓びをさらに高めます。ラグジュアリー・ライン・モデルでは、BMW キドニー・グリル、フロント・エア・インテーク、リヤ・エプロンのクローム・トリムがエレガントなイメージをさらに強調します。インテリアはヴェルナスカ・レザー仕様を装備し、ダッシュボードとドア・トリムにはセンサテックを、またハイグロス・アッシュ・グレー・ブラウン仕上げのファイン・ウッド・インテリア・トリムが室内の上質さをさらに高めています。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの M スポーツ・モデルは、ダイナミックなハンドリングと躍動感ある外観を特徴としており、さらにモデル専用サスペンション・システム、特大のフロント・エア・インテーク、専用デザインのサイド・スカートとリヤ・エプロンを装備しています。また、BMW Individual ハイグロス・シャドー・ラインを装備し、ハイグロス・ブラックのキドニー・グリル・バーとエア・インテーク・トリム、さらにダーク・シャドーのリヤ・デフューザーも加わります。インテリアのデザインも、スポーティな走りに照準を合わせています。特筆すべき装備として、M 専用仕様のスポーツ・シート、M レザー・ステアリング・ホイール、アンソラジットの BMW Individual ヘッドライナー、アルミニウム・テトラゴン仕様のインテリア・トリムがあります。

エンジン、トランスミッション、BMW xDrive 「駆けぬける喜び」を最大限に味わえる 力強さと効率の良さ



胸のすくレスポンス、BMW 特有の滑らかさ、卓越した作動特性、模範的な効率の良さ、これらはいずれも新型 BMW 3 シリーズ セダンの発売時に搭載される BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを備えたガソリン・エンジンおよびディーゼル・エンジンの特徴です。BMW 330i、BMW 320i、BMW 320d、BMW 318d の各モデルのスポーティな走行特性は、BMW グループのエフィシエント・ダイナミクス・エンジン・ファミリーの改良型 4 気筒エンジンがベースとなっています。最新世代の直列 6 気筒ディーゼル・エンジンは、新型 BMW 330d セダンに搭載されます。これら 4 気筒および 6 気筒エンジンに加えて BMW eDrive テクノロジーの搭載により、新型 BMW 3 シリーズ セダンのモデル・バリエーションをさらに充実させてゆきます。年内には極めてスポーティな特性を備えた BMW M パフォーマンス・モデルと、最新のプラグ・イン・ハイブリッド駆動システムを搭載する BMW iPerformance モデルが導入される予定です。

いずれのパワー・ユニットも、新世代の 6 速マニュアル・ギヤボックスまたは 8 速ステップトロニック・トランスミッションと組み合わせられます。新型 BMW 320d セダンには、発売と同時に、伝統的な後輪駆動に替わるインテリジェント四輪駆動 BMW xDrive モデルも用意されます。この四輪駆動システムは前輪と後輪との間の駆動トルクを無段階に振り分けることができ、この最新型では効率も改善されています。

BMW 330i: 最高出力をアップしつつ排出ガスを削減

新型 BMW 330i セダンのエンジンは、以前にもまして活発になっています。細部にわたり改良を重ねられた排気量 2.0 リッターの 4 気筒エンジンは、5,000~6,500 rpm のエンジン回転域で 190 kW/258 ps の最高出力を、また 1,550~4,400 rpm の回転域で 400 Nm の最大トルクを発揮します。ツイン・スクロール・ターボ・チャージャー付きターボ過給システム、高精度ガソリン・ダイレクト・インジェクション・システム、バルブトロニック無段階可変バルブ制御システム、ダブル VANOS 可変カムシャフト制御システムが組み合わせられた BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを集中的に改良したことにより、従来モデルのエンジンと比較して 5 kW/6 ps の出力増、50 Nm のトルク増を果たしています。高精度ダイレクト・インジェクション・システムの改良により、燃料の量をより正確に計量することができるようになり、極めてクリーンな燃焼を実現しています。新型燃料ポンプの採用により燃料噴射圧力は従来より 200 bar 高い 350 bar となり、インジェクション・システムからマルチホール・インジェクターを介して直接、燃焼室に細かい霧状の燃料が噴射されます。さらにこのエンジンでは、クランクシャフトの軽量化、内部摩擦の抑制、熱管理の最適化が行われ、新しいデジタル・エンジン・マネージメント・システムを導入しました。

新型 BMW 330i セダンの 0-100 km/h 加速性能は 5.8 秒をマークし、優れた発進加速性能を示します。また効率性も改善されており、複合モード燃費は 100 km 走行あたり 6.1～5.8 リッター*、また 1 km 走行あたりの CO₂ 排出量は 139～132 グラム*となっています。エンジンの排出ガス特性もさらに改良されており、排気ガス浄化システムには、微粒子の排出を抑えるためのガソリン・エンジン用微粒子フィルターを装備しています。これにより、新型 BMW 330i セダンは、極めて厳しい Euro 6d-TEMP 排出ガス規制をクリアしています。

BMW 320i:滑らかな 4 気筒エンジンの効率性を最適化

新型 BMW 320i セダンにも、細部にわたる改良が施された最新の BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを備えた 4 気筒ガソリン・エンジンが搭載されます。このモデルに搭載されるパワー・ユニットは、最高出力 135 kW[184 ps]/5,000～6,500 rpm、最大トルク 300 Nm/1,350～4,000 rpm を発生します。ベース・エンジンおよびインジェクション・システム、エンジン・マネージメントの最適化により、滑らかさと効率の良さを実現しています。

新型 BMW 330i セダンの 0-100 km/h 加速性能は 7.2 秒です。100 km 走行当たりの平均燃費は 6.0～5.7 リッター*で、1 km 走行当たりの CO₂ 排出量は 137～129 グラム*です。BMW 320i セダンにもガソリン・エンジン用微粒子フィルターを装備しており、排出ガス規制 Euro 6d-TEMP をクリアしています。

BMW 330d:6 気筒が生み出す圧倒的なパワー

他を圧倒する出力特性、驚くほどの滑らかさ、模範的な効率の良さ。これらはすべて新型 BMW 330d セダンに搭載される 3.0 リッター直列 6 気筒エンジンの特徴です。このエンジンは、最高出力 195 kW[265 ps]/4,000 rpm、最大トルク 580 Nm/1,600～3,000 rpm を発生します。この最新型エンジンは、可変インテーク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーと、燃料の量をより正確に計量することができる最高噴射圧力 2,500 bar のピエゾ・インジェクターを備えたコモンレール・ダイレクト・インジェクションが組み合わされています。

新型 BMW 330d セダンの場合、静止状態から車速 100 km/h に達するまでに要する時間は 5.5 秒です。複合モード燃費は 5.2～4.8 リッター/100 km*で、同じく複合モード CO₂ 排出量は 136～128 g/km です*。

BMW 320d と BMW 318d:2 ステージ・ターボ過給システム、噴射圧をより高く

BMW 318d、BMW 320d、BMW 320d xDrive セダンに搭載する 2.0 リッター・クラスの 4 気筒ディーゼル・エンジンに採用する BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーも、終始一貫して改良を重ねてきました。今回よりマルチ・ステージ・ターボ過給システムを搭載して、全てのエンジン回転域での効率性をアップしています。小型の高圧用ターボ・チャージャーと大型の低圧用可変タービン・ジオメトリー式ターボ・チャージャーを組み合わせたターボ過給システムが、素早いレスポンスと全負荷域でのトルク・アップを実現しています。マルチ・ステージターボ・システムの採用により、部分負荷域での燃費を大幅に削減しています。これらに加え、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションのソレノイド・バルブ式インジェクターは、燃焼室への燃料噴射圧力が最大 2,200 bar (BMW 318d) または 2,500 bar となっています。

性能、燃費、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

* 燃費、CO₂ 排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格 (EU) 2007/715 に既定されている測定法に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール/タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

140 kW[190 ps]/4,000 rpm の最高出力と 400 Nm/1,750~2,500 rpm の最大トルクを発揮するディーゼル・エンジン搭載の BMW 320d セダンの 0-100km/h 加速性能は 7.1 秒（オートマチック車:6.8 秒）で、BMW 320d xDrive セダンは 6.9 秒です。このようなスポーティな発進加速能力を持ちながら、100 km 走行当たり平均 4.7~4.4 リッター（オートマチック車:4.5~4.2 リッター）または 4.8~4.5 リッター（BMW 320d xDrive）*の燃料消費量と、1 km 走行当たり 122~115 グラム（オートマチック車:117~110 グラム）（BMW 320d セダン）、または 1 km 走行当たり 125~118 グラム*（BMW 320d xDrive セダン）の CO₂ 排出量を実現しています。

新型 BMW 318d セダンのパワー・ユニットは、最高出力 110 kW[150 ps]/4,000 rpm、最大トルク 320 Nm/1,500~3,000 rpm を発生します。このパワーにより 0-100 km/h 加速性能 8.5 秒（オートマチック車:8.4 秒）を実現しています。複合モード燃費は、4.5~4.2 リッター/100 km（オートマチック:4.4~4.1 リッター/100 km）*で、同じく CO₂ 排出量は 120~112 g/km（オートマチック:116-108 g/km）*です。

BMW 330d、BMW 320d、BMW 320d xDrive、BMW 318d の各モデルは、欧州排ガス規制 Euro 6d-TEMP をクリアしています。これらのモデルは BMW ブルー・パフォーマンス・テクノロジーを搭載しており、微粒子フィルター、酸化触媒コンバーター、NO_x 吸蔵触媒コンバーターその他、窒素酸化物の排出量削減に貢献する AdBlue 噴射式 SCR 触媒コンバーターも装備しています。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの全モデル・バリエーションに、デュアル・パイプ・エグゾースト・システムを装備しています。テールパイプのサイズは、BMW 318d セダンが直径 80 mm、その他すべてのモデルが直径 90 mm となっています。

間もなく登場:最新のプラグ・イン・ハイブリッド・ドライブ搭載の BMW iPerformance モデル

2019 年・夏、プラグイン・ハイブリッド・ドライブを搭載する BMW iPerformance モデルがモデル・ラインナップに加わります。最新の BMW eDrive テクノロジーを搭載する新世代の BMW 330e iPerformance セダンは、競合ひしめく中でも卓越した運動性能を誇るスポーツ・セダンです。電気だけの航続距離は先代モデルより 3 分の 1 以上伸びて最大 60 キロメートル*（暫定値）となります。また、新型 BMW 330e iPerformance セダンは同時に燃費および CO₂ 排出量を約 20%削減しており、燃費が 1.7 リッター/100 km、CO₂ 排出量が 39 g/km*（暫定値）となります。

性能、燃費、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

* 燃費、CO₂ 排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格 (EU) 2007/715 に既定されている測定法に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール/タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

さらに、このインテリジェントに制御される BMW eDrive テクノロジーは、BMW ブランドならではの駆けぬける歓びも提供します。8 速ステップトロニック・トランスミッションと一体化された電気モーターは、最大 30 kW[41 ps]の追加出力を即座に発生させることができ、ダイナミックに加速したいときなどにエンジンをサポートします。BMW 330e iPerformance セダンの 0-100km/h 加速性能は 6.0 秒(暫定値)です。また、新しいサウンド・チューニングによってハイブリッド・モデル特有のドライビング・エクスペリエンスを演出します。プラグイン・ハイブリッド・システムの作動モードに応じて、BMW 3 シリーズ セダン特有のスポーティなキャラクターだけでなく、電気自動車特有のほとんど音を立てない滑らかな走りも実現します。リヤ・シートの下に高電圧リチウム・イオン・バッテリーを搭載し、リヤ・アクスルの上に燃料タンクを配置することにより、トランク・スペースをほとんど犠牲にすることなく BMW eDrive テクノロジーを搭載することができました。車両のカスタマイズについても、ほぼすべてのオプション・プログラムから選択できます。新型 BMW 330e iPerformance セダンには、ヒーター／エア・コンディショナー・システムのプレ・コンディショニング機能も標準装備されており、またエンジンを始動しなくてもオプションのシート・ヒーターをオンにすることができます。

卓越した走行性能: 新型直列 6 気筒エンジンを搭載する BMW M パフォーマンス・モデル、BMW M340i xDrive

同じく 2019 年・夏、モデル・レンジの性能争いで頂点を極める魅力あふれる新型モデル、BMW M340i xDrive セダンが加わります。この新しい BMW M パフォーマンス・モデルは、新型 BMW 3 シリーズ セダンの走行性能のポテンシャルを最大限まで押し上げるモデルです。新型直列 6 気筒ガソリン・エンジン、モデル専用サスペンション・セットアップ、インテリジェント四輪駆動システム xDrive、そして M スポーツ・ディファレンシャルを標準装備したこのモデルは、卓越した挑戦的パフォーマンスを約束します。

BMW M340i xDrive セダンのために開発された新型直列 6 気筒エンジンは、最高出力 275 kW[374 ps]、最大トルク 500 Nm を発生します。0-100 km/h 発進加速性能は 4.4 秒(暫定値)をマークし、これは、この BMW M パフォーマンス・モデルが高性能スポーツ・カーと同じパフォーマンス・レベルにあることを示しています。BMW M340i xDrive セダンの複合モード燃費は 7.5 リッター/100 km*、同じく複合モード CO₂ 排出量は 199 g/km(暫定値)*です。

性能、燃費、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

* 燃費、CO₂ 排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格(EU)2007/715 に既定されている測定法に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール／タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

6 速マニュアル・ギヤボックスおよび 8 速ステップトロニック・トランスミッションを徹底的に改良

BMW 318d と BMW 320d の両モデルに標準装備されている 6 速マニュアル・トランスミッションは、音響特性を改善し、操作快適性も向上しています。新型 BMW 3 シリーズ セダンのその他のモデル・バリエーションは、すべて 8 速ステップトロニック・トランスミッションを標準装備しています。この最新型オートマチック・トランスミッションの改良点としては、ギヤ・スプレッド(最低ギヤの変速比／最高ギヤの変速比)を従来の 7.8 から 8.2(または 8.6 - BMW 330d)に拡大したこと、内部効率の改善、制振性の改善、新しいコントロール・ユニットの導入、さらにシフト特性の強化があります。特にこの新型 BMW 3 シリーズ セダンの加速能力の向上は、油圧制御システムの改善の他、低速ギヤにおけるクロスレシオ化によって成し遂げられています。

オプションの 8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッションはシフト・チェンジに要する時間をさらに短縮しており、加えてローンチ・コントロール機能によりトラクションを最適化して運動性能を最大限に活用した加速を実現します。また、ステアリング・ホイールに装備されたパドル・スイッチを使用して、マニュアルでシフト・チェンジすることもできます。

インテリジェント・ネットワークで運動性能と効率性を向上

インテリジェント・ネットワークの採用により、どちらのオートマチック・トランスミッションも走行するコースや交通状況に合わせてシフト・ストラテジーを変化させることができます。対応するオプションの装備車両であれば、8 速ステップトロニック・トランスミッションは、ナビゲーション・システムやアクティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサーのデータを考慮することもできます。これにより次々とコーナーが連続する道路を高速で走行している際の不要なシフト・チェンジを回避したり、あるいは前走車に接近しすぎたときに早めにシフト・ダウンすることでエンジン・ブレーキを有効に活用したりすることができます。

インテリジェント・ネットワーク化により、エンジンの効率性も向上させることができます。新型 BMW 3 シリーズ セダンでエンジン・オート・スタート／ストップ機能と 8 速ステップトロニック・トランスミッションの組み合わせにより実現されるコースティング機能は、オプションのナビゲーション・システム、同じくオプションのドライバー・アシスタント・システムに組み合わせられるフロント・カメラやセンサー類が提供するデータを使用します。これにより、合流地点やロータリー交差点での短時間の停車時には、非効率となるエンジン・ストップを回避できます。この他にも、前走車の動きを記録しておくことで、オート・スタート／ストップ機能でエンジンを停止／再始動する理想的なタイミングを計算することもできます。コースティング機能は、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチが ECO Pro および COMFORT のいずれかのモードで、車速が 15～160 km/h の範囲であれば使用できます。また効率を改善するためのパワートレインの接続解除は、運動性能と快適性に影響を及ぼさない交通状況に限って行われます。ドライバーがアクセル・ペダルを素早く戻した場合はパワートレインの接続は解除されず、エンジン・ブレーキを利用できるようにして減速をサポートします。同様の理由で、交差点または前走車に近づいた場合はパワートレインの接続は解除されません。

BMW xDrive:無段階可変式でなおかつ効率を向上

新型 BMW 320d xDrive セダンでは、最新式のインテリジェント四輪駆動システムにより、状況に応じて、また極めて効率的な方法で、前後のホイール間の駆動トルクを振り分けることができます。この無段階可変式の動力伝達システムは、あらゆる路面状況や気候条件で最大のトラクションと走行安定性を確保します。さらに、ダイナミックにコーナリングをするときには、スポーティなハンドリングを支援します。トランスファー・ギヤボックスに組み込まれた電子制御多板クラッチは、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) とネットワークで接続されており、あらゆる走行状況に合わせて駆動力を精密に、瞬時に適合させます。そのため、例えば車両がオーバーステアやアンダーステアの傾向を見せた場合でも、その挙動をすぐに打ち消します。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの四輪駆動システムは、BMW の定評ある後輪駆動特有のスポーティな走りを実現できるようにセットアップされています。ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチを SPORT モードにすると、この傾向はいつそう明確になります。意図的にリヤ・ホイールに多めの駆動力を伝達することで、カーブに進入する際の俊敏性を高めます。また、BMW xDrive の効率性を向上させるため、四輪駆動が必要でない状況では、全駆動トルクをリヤ・ホイールへ送ります。このシステムは、以前より軽量化されています。一方、オイル供給システムの改良によって内部効率が改善されています。

サスペンション・テクノロジーおよび ドライビング・エクスペリエンス スポーツ性と快適性との絶妙なバランス



新型 BMW 3 シリーズ セダンのボディ構造およびサスペンション・テクノロジーの開発の際に重視した点は、運動性能の向上、俊敏なハンドリング特性、高いステアリング精度、卓越したブレーキ性能です。これらを実現するためのベースとなっているのは、軽量化、低重心化、そして 50:50 のバランスの取れた軸重量配分に加え、とりわけ先代モデルよりも拡大したトレッド、大幅に増加したフロント・アクスルのホイール・キャンバー、そしてボディ構造およびサスペンション接続部の高剛性化です。ボディ全体の剛性では約 25%、部分的には 50% も高くなっています。サスペンション・マウント部の剛性を高めたため M スポーツ・サスペンションやアダプティブ M サスペンションの特徴がはっきりし、先代の BMW 3 シリーズ セダンに比べてサスペンションのスプリング・レートは約 20% 高くなっています。

さらに、新型 BMW 3 シリーズ セダンのために新しいショック・アブソーバ・テクノロジーが開発されました。BMW モデルで初めて採用されたストローク依存型ダンパーはサスペンション・システムの一部として標準装備されており、競合クラスの中で群を抜く高いレベルでスポーツ性と走行快適性のバランスを達成し、それが新型 BMW 3 シリーズ セダンのキャラクターにもなっています。サスペンションの位置を互いに精密に調整することで、走行中の運動性能を目標とする設定に適合させることができます。サスペンション、ステアリング、タイヤ、ブレーキ・システム、ディファレンシャル・ロックの機能を相互に調整することで、よりリラックスした状態でスポーティなドライビングを愉しむことができるようになります。

軽量構造および高剛性化で俊敏性を向上

新型 BMW 3 シリーズ セダンのサスペンション構造を徹底的に改善することで、様々な面で俊敏性が高められています。すでに定評あるダブルジョイント・プルストラット・スプリングストラット式フロント・アクスルと 5 リンク式リヤ・アクスルの組み合わせは、細部において多くの改良が施されています。それと同時に、スポーティなハンドリングだけでなく乗り心地や走行音も改善されています。

フロント・アクスルのアルミニウム製ピボット・ベアリングとコントロール・アーム、リヤ・アクスルのアルミニウム製ホイール・キャリアと新世代ホイール・ベアリングの採用により、バネ下質量は格段に小さくなっています。フロント・アクスルは、その高い部品剛性、ボディ接続部のスラスト・プレート、そして専用の運動学的セットアップを通じてステアリング精度とコーナリング時の運動性能を高めています。特に、振動と揺れを打ち消すための油圧ダンパー付きプルストラット・マウントによって、セダンが備えるべき高い快適性を実現するための理想的な前提条件が整えられています。またリヤ・アクスルでは、極めて高い剛性のコントロール・アームとアクスル・キャリア、およびスラスト・プレートを介したボディとの接続という組み合わせが極めて精密なホイール・コントロールを約束します。その他にも弾性運動学を通じて正確に調整された構造原理によって、運動性能を向上させています。

重量を最大 55 kg 軽減し、空気抵抗は最小 Cd 0.23 を実現

シャシー・コンポーネントと同じく、ボディ構造も軽量化しています。BMW エフィシエント・ライトウエイトの原則に従ったインテリジェント・マテリアル・ミックスを基礎としており、特に高張力鋼板とアルミニウムを多く使用しています。先代モデルと比較して、ホワイトボディは約 20 kg 軽量化しています。BMW 3 シリーズ セダンのフロント・スプリング・ストラットとエンジン・キャリアが初めてアルミニウム製になりました。それだけでも先代モデルに比べてボディ構造は約 7.5 kg 軽量化しています。さらにエンジン・フードとフロント・サイド・パネルもアルミニウム製にしたことで、15 kg の重量削減を達成しました。全体として見ると、新型 BMW 3 シリーズ セダンは、モデル・バリエーションと装備によって異なりますが、対応する先代モデルに比べて最大で 55 kg の軽量化を実現しています。

空力特性の改良も、新型 BMW 3 シリーズ セダンの効率性と走行性能の向上に貢献しています。例えば BMW 320d の場合、空気抵抗値(Cd)は 0.26 から 0.23 に低下しています。特にボディ下回りをほぼ完全に覆ったこと、空気抵抗を改善したホイールの採用、車両フロント部のエア・カーテンの採用、さらに BMW キドニー・グリルとロワー・エア・インテークに最新型のアクティブ・エアフラップ・コントロールを採用したことにより、このセグメントでトップレベルの数値を実現しています。

ストローク依存型ダンパーを初採用

新開発のサスペンションおよびダンパー・システムは、新型 BMW 3 シリーズ セダんに極めてバランスの取れたハンドリングをもたらします。ストローク依存型ダンパー・コントロールを採用したことで、路面の突起やダイナミックにカーブを走行する際の振動を打ち消して目を見張るほどにボディを安定させ、スポーティで信頼感のあるハンドリングを実現します。システムには、フロント・アクスルの油圧式補助ダンパーとリヤ・アクスルのコンプレッション・リミッターが含まれます。これらのダンパーは、無段階可変式ダンパーの硬さをスプリング・ストロークに応じてプログレッシブに調整します。このため大きな起伏を乗り越える場合、極端なボディの沈み込みを防ぎ、不快で神経を使うことを強いられるダンパーの挙動を回避できます。

フロント・アクスルでは、ボディの振動はまず、追加で装備され、ダンパーのインナー・スリーブに組み込まれたエレメントで打ち消します。負荷が大きくなったときに初めて、ダンパー全体が作動します。リヤ・ダンパーも、やはり走行状況に応じて無段階に適応します。また、これらは車両に重い荷物を載せたときにも、その都度理想的な油圧減衰作用を提供します。このストローク依存型ダンパーは、アクティブにサスペンションを調整する機能が与えられています。そのため、スポーツ性と快適性のバランスを狙い通りに最適化できます。しかも、このプログレッシブ・サスペンション・コントローラーが走行性能のバランスに与える効果は、負荷が大きくなったときだけでなく、小さな起伏でダンパーが僅かにしか動かないときにも実感できます。

このストローク依存型ダンパーは、新型 BMW 3 シリーズ セダンの標準仕様のサスペンションでも、オプションの M スポーツ・サスペンションでも採用されています。M スポーツ・サスペンションの場合は、硬めのベアリング、追加のボディ補強、さらにスプリング・レートの高いサスペンションとスタビライザーによって、キネマティクスもエラストキネマティクスも明確にダイナミックな走行を意識したセットアップとなっており、そのためホイール・キャンバーも大きくなっています。スプリングが素早く伸縮する際の減衰力は、標準装備サスペンションに比べて約 20% 高くなっています。その結果、2 つのサスペンション仕様の差は先代モデルの約 2 倍になります。また、新型 BMW 3 シリーズ セダンの四輪駆動モデルにも初めて M スポーツ・サスペンションを採用しており、その場合は車高が 10 mm 低くなります。

電子制御ダンパーを備えたアダプティブ M サスペンション

標準仕様のダンパーを備えたサスペンションに代わるオプションとして、アダプティブ M サスペンションを選択することができます。このサスペンション・システムは、M スポーツ・サスペンションに電子制御ダンパーを組み合わせたものです。これは、無段階調節式バルブを介してホイールごとに減衰力を制御し、新型 BMW 3 シリーズ セダンにスポーティでありながら最高に快適なサスペンションをもたらします。

この最新型のダンパー・システムは、新型バルブと改良型制御アルゴリズムを採用しており、負荷に応じて減衰力を調整することができます。さらに、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチで走行モードを変えたとき、ダンパー特性の変化を従来よりもはっきりと感じ取ることができます。COMFORT モードでは電子制御ダンパーが長距離ドライブ向きの調和のとれた快適な乗り心地に調整し、SPORT モードではよりダイナミックな走行スタイルを可能にします。それぞれの設定変更は、ダンパーだけでなくステアリングやアクセル・ペダルの特性曲線、ステップトロニック・トランスミッションのシフト特性にも影響を及ぼします。さらに ADAPTIVE モードも選択できます。このモードを選ぶと、ドライバーの運転スタイルや、装備車の場合は設定した走行ルート構成に合わせて車両設定を自動調整します。制御システムは、アクセル・ペダルやステアリングの操作、セレクター・レバーのポジションに応じてエンジンやサスペンションの特性をスポーティにするか、あるいは快適性を重視するか調整をします。またオプションのナビゲーション・システム・プロフェッショナルから提供される地図データを利用して、予め交差点やカーブに接近する際の準備を整えます。

ダイレクトで精密、かつ俊敏：バリアブル・スポーツ・ステアリング

新型 BMW 3 シリーズ セダンに装備された電動ラック & ピニオン・パワーステアリングには、車速感応式パワー・ステアリングのサーボトロニックが標準装備されています。バリアブル・スポーツ・ステアリングは、M スポーツ・サスペンションやアダプティブ M サスペンションにも装備されます。このステアリングを装備した新型 BMW 3 シリーズ セダンは、ドライバーのステアリング操作量に応じて無段階にステアリング・ギヤ・レシオを変化させ、直進状態を苦もなく維持し、俊敏にコーナーを曲がり、転回や操舵もさらに快適に行えます。最新型のバリアブル・スポーツ・ステアリングは、わずかなステアリング入力に対しても極めてダイレクトに反応します。コーナリングでは精密かつ素早い反応を見せ、駐車場への出入りなどの際には、ステアリングをあまり大きく回さずとも楽に操車することができます。

BMW 320i、BMW 318d、BMW 320d の各モデルには、16 インチ・アロイ・ホイールが標準装備されています。その他のすべてのモデルには、17 インチ・アロイ・ホイールが装備されます。オプションで、18 インチおよび 19 インチのアロイ・ホイールが用意されており、フロントとリヤで異なるサイズのタイヤを装着することも可能です。

突出したパフォーマンスのための専用設計でブルー塗装のブレーキ・キャリパーを装備した M スポーツ・ブレーキ・システム

高性能軽量ブレーキ・システムも、スポーティなハンドリングにとって重要な役割を担います。このモデル専用ブレーキ・ディスクは、ねずみ鋳鉄製フリクション・リングとアルミニウム製ディスク・チャンバーで構成されており、重量を最適化しながら高いパフォーマンスを発揮します。

M スポーツ・ブレーキ・システムは、市街地走行からサーキットでの運用に至るまで、直感的なブレーキ操作に応え、卓越したブレーキ・パフォーマンスを発揮します。このシステムは短いペダル・ストロークと明確なプレッシャー・ポイントを特徴とするスポーティなセットアップが成されており、ブレーキング時の熱に対する耐性が高く、極めて高い制動能力を保証します。さらに M スポーツ・ブレーキ・システムは、よりダイレクトなブレーキ・レシオと分離型油圧回路で設計されたフロント 4 ピストン式固定キャリパー、リヤ・シングル・ピストン式フローティング・キャリパーを装備しています。これらのブレーキ・キャリパーは、それぞれブルーに塗装されて M のロゴが付いています。

ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)の機能には、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)やダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)の他、各種走行安定化や坂道発進アシスタント機能が含まれます。また、新型 BMW 3 シリーズ セダンの俊敏性を高めるために、状況に合わせてリヤ・アクスルの駆動トルクを分配するパフォーマンス・コントロールが標準装備されています。駆動輪の左右で摩擦係数が異なる路面で急ブレーキをかけたときの走行安定性を最適化するために、ステアリング入力機能(ステアリング・インパルス)を利用して適切な進路を維持するようドライバーをサポートします。さらに、DSC システムを介した電動パーキング・ブレーキの機能が、リア・ブレーキ・キャリパーに統合されています。

M スポーツ・ディファレンシャルが、トラクション、俊敏性、安定性、そしてコーナリング時の運動性能を向上

BMW 330i および BMW 330d の両モデルには、M スポーツ・サスペンションまたはアダプティブ M サスペンションと組み合わせることのできる M スポーツ・ディファレンシャルがオプション装備品として設定されています。リヤ・ディファレンシャルに一体化された電子制御式無段階可変ロッキング機能により、トラクションおよびコーナリング性能を大幅に向上させます。さらにアクティブ・ディファレンシャル・ロック機能により、走行安定性と俊敏性を高める効果が生じます。

DSC システムを通じてコーナリング中のカーブ内側と外側のホイール間の回転数差の制限を精密制御することで、あらゆる走行状況において駆動力の伝達を最適化します。電気モーターによって生成される差動ロック機能により、最大 1,500 Nm の駆動トルクを、回転が速い方のホイールから回転が遅い方のホイールへと移すことができます。例えば高速でカーブを走行する場合、アンダーステア傾向が生じると大きな障害となります。そのために、グリップを失って空転気味になっているカーブ内側のホイールの路面に伝えることのできない駆動力を、ブレーキ作動させて無力化させるのではなく、意図的にカーブ外側のホイールに配分します。そうすることで、車両は実感できるほどダイナミックにカーブに進入し、駆動トルクをスポーティな走りのために利用し尽くします。こうした駆動トルクの大幅な移し替えを可能にしたことで、新型 BMW 3 シリーズ セダンは、カーブの出口で極めてダイナミックに加速することができるようになります。

M スポーツ・ディファレンシャルの効果は、次から次へとカーブが連続するときにもはっきりと感じることができます。何度も方向を変え、荷重移動を繰り返すこのような場面では、駆動トルクをホイールごとに配分してオーバーステア傾向を打ち消します。この場合、追加の駆動力をその時々カーブ内側のホイールに集中的に移し替えることで、安定した状態、かつ余裕のある状態でドライバーが選ぶコースを維持します。ブレーキを掛けながら進路変更をする場合にも、リヤ・ホイールの左右の間で駆動力を一方に集中的に移し替えることで走行安定性を向上させます。さらに、左右の駆動輪のグリップに差のある路面状態で発進する場合にも、アクティブ・ディファレンシャル・ロックがトラクションを向上させます。

インテリアおよび装備品 洗練されたプレミアムな雰囲気、 革新的なオプションの数々



スポーティな雰囲気と現代的ですっきりとしたデザインにより、新型 BMW 3 シリーズ セダンのインテリアはひと目ただけで純粋な駆けぬける歓びへの期待が沸き起こります。新たにデザインされたコントロール・ディスプレイとメーター・パネル間の表示の連携、そしてセンター・コンソール上の気品を感じさせる操作パネルがインテリアの先進性を伝え、進歩した BMW 特有のドライバー・オリエンテッドなコックピットを作り出しています。先代モデルよりもスペースが拡大したため、日常生活においても、また旅行の際にも、ドライバーとパッセンジャー、そして後席に 3 名が乗車するための十分なスペースを確保しています。上質な素材、精密な加工、そして細部にわたり配慮の行き届いたインテリアは、この 4 ドア・セダンの洗練されたプレミアム・キャラクターを特徴付けています。さらに、世代交代に伴う進歩として音響快適性を改善し、標準装備品を充実させ、革新的なオプションを数多く用意しました。

新しいデザインの運転席および助手席のシートは、ロング・ドライブの快適性を高めます。オプションのスポーツ・シートは横方向のサポートが極めて良好で、調節機能が追加されています。標準仕様のシートとスポーツ・シートには、オプションでシート・ヒーターおよびポジション・メモリー機能付き電動調節機能が用意されています。新たにオプションに加わったヴェルナスカ・レザー仕様は、最高級の表面仕上げが施されています。この仕様には 5 つのカラー・バリエーションが用意され、装備ラインごとに専用の装飾ステッチやシームが設定されています。

前席のシート周りではとりわけ肩部の空間が拡大され、後席は足元が広がっています。さらに新型 BMW 3 シリーズ セダンは先代モデルに比べると、すべてのシート位置で頭部に余裕が生まれています。後席の座り心地も大きく改良されています。特に後席中央のシートは、以前よりも長距離ドライブで快適になりました。

後席を利用する人の乗り降りの快適さも向上しています。ルーフ・エッジとサイド・シルの輪郭が新デザインになったことでドア開口部の高さが拡大しており、また前後シートの間隔が 11 mm 広がって、乗り込むときに足元を動かしやすくなっています。また後席にはチャイルドシートを 3 つ並べることができ、そのうちの 2 つは ISOFIX ブラケットで固定できます。ISOFIX の各ブラケットは以前より外側に配置され、より快適に固定できるようになりました。

新デザインのステアリング・ホイール、BMW Individual だけのオプション装備品

新型 BMW 3 シリーズ セダンには、マルチ・ファンクション・スイッチ、サム・レスト、そしてクローム・アプリケーションの付いた新デザインのスポーツ・ステアリング・ホイールが標準装備されています。オプションで、M レザー・ステアリング・ホイールと BMW Individual レザー・ステアリング・ホイールが用意されています。

また、新型 BMW 3 シリーズ セダンの発売と同時に、BMW Individual のハイグレード・オプションとして、レザー仕様の BMW Individual インストルメント・パネルも追加されます。その他、「BMW Individual」のロゴが浮かぶエントランス・ストリップは、インテリアに独特な雰囲気を出します。

全方位の視界改善、開口部が拡大された電動ガラス・ルーフ

細くなった A ピラー・トリム、コントロール・ディスプレイの新しい配置、極めて細いルームミラー・フレームなどにより前方の視界が広がり、同時にインテリア・スペースのゆったりとした広さを感じさせます。また後方視界も大幅に改善されました。オプションのガラス・ルーフを装備すると、頭上に広がる大空を眺めることもできます。先代モデルよりもガラス部分の前後の長さが 100 mm 延び、その結果、後席の乗客も陽射しをたっぷりと楽しむことができるようになりました。ガラス・ルーフとルーフ内張は、いずれも電動で開閉します。

先代モデルと比べると、前席および後席のトレイや収納ボックスの収容能力が大幅に拡大されています。従来からあるグローブ・ボックスやセンター・アームレスト下の収納ボックスの他にも、シフト・レバーまたはセレクト・レバー前方のトレイ、大きなドア・ポケットがあり、運転席側のライト・スイッチの下には新たな収納部も増設されました。センター・コンソール前方のワンタッチで開くカバーの下には、カップ・ホルダー 2 個と 12V 電源ソケットおよび USB ポート各 1 個が用意されています。その他にも、センター・アームレストの下に照明付きボックス内に USB ポートが 1 個あります。また Bluetooth インターフェースも標準装備されています。ワイヤレス充電機能を備えたオプションのテレフォニーは、対応するスマートフォンを非接触で充電できます。

新型 BMW 3 シリーズ セダンのラゲッジ・ルーム容量は 480 リッターです。今回、新たにメインの収納スペースとセパレート式収納部をパーティションで分けたことにより、先代モデルに比べて収容能力が 36 リッター拡大しました。オプションのストレージ・パッケージには、追加の収納場所として左右ラゲッジ・ルーム・トリムのパーティション・ネット、バッグ掛け、トランク・ルーム内の 12V 補助電源ソケットが含まれます。大きくかさばる荷物でも楽に収容できるように、40:20:40 分割可倒式リヤ・シート・バックレストが標準装備されています。その他、特別装備品としてオートマチック・トランク・リッド・オペレーションおよび電動で出し入れができる電動式トレーラー・カップリングも用意されています。オプションのコンフォート・アクセス・システムを装備すると、無線リモート・コントロール(キー)を携帯して車両に接近すると、自動でロックが解除され、遠ざかると再びロックされます。その機能には、トランク・リッドに触れることなく開閉できる機能も含まれます。新たにリモート・コントロール(キー)に内蔵された動作検出センサーにより、キーを携帯しているか(結果として車両と無線接続が確立されているか)、あるいはテーブルの上に置きっぱなしになっているか、その結果無線通信機能をオフにしてスタンバイ・モードに切り替えるか、などを常に監視しています。

アンビエント・ライトがムードあるインテリアを演出

新型 BMW 3 シリーズ セダンに標準装備されるインテリア・ライトは、フロントおよびリヤのリーディング・ライトやルーム・ライトの他、グローブ・ボックス、センター・アームレスト下収納部、フット・スペース、サン・バイザーに内蔵されたミラー、ラゲッジ・ルームなどの照明や、ドア・カーテシ・ライトも含め、すべて LED を採用しています。オプションのアンビエント・ライトは好みに合わせて照明の色が変更でき、インテリアをムードある雰囲気演出します。ダッシュボードとドア・トリム・パネルの輪郭線に沿って正確に配置された LED ライト・ガイドによる間接照明は、ダイナミックかつエクスクルーシブな雰囲気を生み出します。

6 色の照明の色と、明るさ、配分、配色から成る 11 種類の配光パターンの組合せは、iDrive のメニューを通じて選択できます。さらに、ダイナミック・インテリア・ライト機能により、特定の状況下では明滅する光のシグナルとして視覚に訴えます。例えばエンジンが作動している状態でドアを開けるとドア・トリム・パネルのライトがシグナルを発し、電話の着信があるとダッシュボード周りでシグナルを発します。その他、アンビエント・ライトの機能には、集中ロックを解除したときやドアを開けたときに、外部の足元付近を照らすウェルカム・ライト・カーペット機能が含まれます。

照射範囲を拡大: BMW レーザー・ライト付きアダプティブ LED ヘッドライト

標準装備されるフル LED ヘッドライトの役割は路面を照らすことであり、光源はすべて、ロービームもハイビームも、デイ・ランニング・ライトもターン・インジケーターも LED を使っています。オプション装備品の拡張機能付き LED ヘッドライトは、ダイナミック・コーナリング・ライト機能を提供します。この機能は、内側と外側のヘッドライトに設置された、デイ・ランニング・ライトとしても機能する U 字型の LED ユニットが受け持ちます。その他のオプションとして、どちらのヘッドライト仕様にも組み合わせることができるハイビーム・アシスタントがあります。同じくオプションで提供される LED フォグライトは水平方向に並ぶ形状で、左右のエア・インテークに違和感なく統合されています。

オプションの BMW レーザー・ライト付きアダプティブ LED ヘッドライトは、夜間走行での視界をさらに改善します。このヘッドライト・システムは、可変式路面照明機能と眩惑防止ハイビーム機能を提供します。このシステムの場合、セレクトティブ・ビーム付き BMW レーザー・ライト・スポットによりハイビーム機能を最適化しており、ハイビームの到達距離は、フル LED ヘッドライトの約 2 倍の約 530 m に達します。装備範囲に含まれるハイビーム・アシスタントは、対向車または前走車のドライバーを眩惑することを防止します。特徴的なツイン・ヘッドライト・ユニット内部に設置されたブルーの L 字型アクセントは、極めて洗練された照明技術の証です。

フロント・ウィンドウ・ワイパーにも、革新的なテクノロジーを採用しています。新型 BMW 3 シリーズ セダンのために開発されたワイパー・アームにはウォッシャー・ノズルが統合されており、あらゆる車速域でも極めて均質、かつ視界を制限しないようにウォッシャー液を散布することができます。

音響特性を最適化:エア・コンディショナー、Aピラー、フロント・ウィンドウ、ドア

新型 BMW 3 シリーズ セダンには、レイン・センサー、オートマチック・ヘッドライト・コントロール、電話用ハンズフリー通話システム、オートマチック・エア・コンディショナーが標準装備されています。オプション装備品として、運転席側、助手席側、後席側の温度および風量を別々に調整できる 3 ゾーン・オートマチック・エア・コンディショナーが用意されています。どちらの仕様のエア・コンディショナーも音響特性が改善されています。エア・ダクトとエア吹き出し口の設計を見直して圧力損失を抑えたことにより、ベンチレーター、ヒーター、エア・コンディショナーの作動時に生じる気流音を大幅に低下させました。

A ピラーに構造用発泡素材を充填して室内への空気伝送音を抑制するなど、ボディ周りの風切り音に対策を施したことで音響快適性はさらに向上しました。新型 BMW 3 シリーズ セダンでは、フロント・ウィンドウにアコースティック・ガラスを標準装備しています。オプション装備として、ドア・サイド・ウィンドウ用アコースティック・ガラスを用意しています。工場出荷オプションとして、厳しい冬の室内の快適性を向上させるパーキング・ヒーターを用意しています。このシステムは、iDrive 操作システムから、またはオプションの BMW ディスプレイ・キーから、あるいはスマートフォンから BMW コネクテッド経由で作動させることができます。

特別仕立てのエンターテインメント & サウンド

新型 BMW 3 シリーズ セダンには、ラジオ・プロフェッショナルが組み合わされた BMW ライブ・コックピットが標準装備されています。このシステムには、出力 100 W のスピーカーが 6 個装備されています。オプションの HiFi スピーカー・システムを装備すると、音源の数は 10 個となり、またアンプ出力は 205 W になります。さらにオプションのエンターテインメント・パッケージに含まれる 16 スピーカーの Harman Kardon サラウンド・サウンド・システムと出力 464 W のデジタル 7 チャンネル・アンプは、新型 BMW 3 シリーズ セダンで最高品質のサウンドを実現します。

ドライバー・アシスタント・システム 自動運転に向けて歩む道



新型 BMW 3 シリーズ セダンは、スポーティな駆けぬける歓びの新たな基準を確立するだけでなく、渋滞や交通の流れが悪いときなどの単調な状況におけるドライバーの負担を軽減したり、困難な走行状況でドライバーを支援したりするアシスタント・システムの分野においても先駆けとなっています。新世代モデルには快適性と安全性を高めることに焦点を当てたシステムを標準装備やオプションとして用意しており、その選択肢は格段に増えています。新型 BMW 3 シリーズ セダンの先進的なドライバー・アシスタント・システムは、自動走行の実現に向けて各社がしのぎを削る中、先導者的ポジションを示すものと言えます。

車両の周囲をモニターするためにカメラ画像、レーダー・センサー、超音波センサーによってシステムが収集したデータを利用して、ドライバーに危険を警告したり、ブレーキまたはステアリングに目的を絞った介入を行ったりしながら事故のリスクを最小限に抑えます。オプションのブレーキング機能付きクルーズ・コントロールは、ロング・ドライブでの快適性を向上するためのシステムです。これはドライバーが選択した希望速度を維持しながら、必要に応じて車両の加速および減速を行います。オプションの道路標識認識システムは、システムが制限速度標識を読み取り、最大 15 km/h の誤差範囲で希望速度をこれに合わせます。さらに包括的なサポートを提供するのが、ストップ＆ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロールです。このシステムは、希望速度だけでなく前方を走行する車両との車間距離も維持します。このシステムは、0～210 km/h の車速域で利用でき、必要に応じて車両にブレーキをかけ、停止させることもできます。自動で再発進するまでの待ち時間は最大 30 秒まで設定できます。再発進するのに理想的なタイミングを把握するため、システムのセンサーは直前を走る車両の他にその一つ前の車両も記録します。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの標準装備のひとつに、前車接近警告および衝突回避・被害軽減ブレーキがあります。この最新型は、自転車を検知した場合にも警告を発します。このシステムは、状況に応じて車両が停止するまで減速をして衝突を回避するか、万が一衝突する場合にもその被害を最小限に抑えます。オプションのドライビング・アシストには、さらに車線逸脱警告システムおよび車線変更警告システムが含まれます。前者は車速が 70～210 km/h のとき、後者は 20 km/h～最高速度のときに、該当する状況に対してアクティブ・ステアリング入力機能（ステアリング・インパルス）によって車両を適切な車線に戻すようサポートします。ドライビング・アシストのその他の機能としては、リア・コリジョン・ウォーニング（後面衝突警告）およびクロス・トラフィック・ウォーニング（交差交通警告）があります。これを使用すると、ドライバーからの見通しの悪い状況で、後退しながら道路に出る際の衝突のリスクを回避することができます。クロス・トラフィック・ウォーニングは、車両の装備状況に応じて、リヤ・エプロンのレーダー・センサーの他、リヤ・ビュー・カメラの映像を監視用として使用することもできます。

最高水準の快適性と安全性:ドライビング・アシスト・プロフェッショナル

快適で安全に走行するためのアシスタント・システムを包括的に統合したシステムが、オプションのドライビング・アシスト・プロフェッショナルです。このシステムの技術的な基礎は、フロント・レンジ・レーダーと組み合わせられるトリフォーカル・カメラ(三焦点レンズ付きカメラ)で、このカメラは Mobileye 社と共同開発したものです。このコンプリート・パッケージは極めて可用性が高く、ドライビング・アシストやストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロールの他に、ステアリング & レーン・コントロール・アシストも含まれます。この機能は車両前方の車線マークおよび前走車を基準とするシステムで、認識した車線を維持して走行するようドライバーをサポートします。これにより、例えば自車が道路工事区間にさしかかった際、道幅が狭くなる箇所でも走行車線を維持するように効果的に支援します。ドライバーがステアリング・ホイールに手を置いているかどうかの検知は極めて敏感で、数本の指でステアリングに軽く触れただけでも反応します。このシステムの操作スイッチは、使いやすいうようにステアリング・ホイール左側のスポーク部分に配置されています。このスイッチを一度押すだけで、アクティブ・クルーズ・コントロールとステアリング & レーン・コントロール・アシストをどちらも作動させることができます。

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルには、これらの他に、アクティブ・サイド・コリジョン・プロテクション機能付きレーン・キーピング・アシスタントが含まれています。このアクティブ・サイド・コリジョン・プロテクションは、視覚的な警告を出し、ステアリング・ホイールを振動させて警告する他、積極的にステアリング操作にも干渉して衝突を回避するために貢献します。さらにドライビング・アシストには、歩行者にも反応する衝突回避アシスタント、優先違反警告と進入違反警告、および後退時だけでなく前進して交差する道路に入る際にも役立つクロス・トラフィック・ウォーニングが含まれます。

投影面の拡大、グラフィックの改良:最新世代 BMW ヘッドアップ・ディスプレイ

新型 BMW 3 シリーズ セダンでより運転に集中し、より安全に駆けぬける喜びを得ることに貢献するのが、オプションの BMW ヘッドアップ・ディスプレイです。このシステムは、走行に関連する情報を、図形情報としてフロント・ウインドウのドライバーから見やすい位置に投影します。そのため、ドライバーは前方の路面から視線を逸らす必要がありません。最新世代のこのシステムは、先代 BMW 3 シリーズ セダンと比較して投影面積が 70% 拡大され、グラフィックが改良され、表示内容も追加されました。BMW ヘッドアップ・ディスプレイは、走行速度、制限速度や追越禁止の情報、チェック・コントロールのメッセージ、アシスタント・システムの作動状態や警告表示、電話やエンターテインメント・システムに関するリストのデータなどを表示します。

BMW ヘッドアップ・ディスプレイとアクティブ・クルーズ・コントロールを組み合わせると、車間距離警告機能が利用できます。その場合、あらかじめ設定した前走車との最低車間距離を下回ったときに、グラフィック・シンボルを点滅させてドライバーに警告を発します。

駐車時および操車時の快適性を最大化:リバース・アシストとパーキング・アシスト・プラス

新型 BMW 3 シリーズ セダンのドライバーは、駐車時や操車時に革新的アシスタント・システムによる包括的なサポートを受けることもできます。オプションのパーク・ディスタンス・コントロール (PDC) はフロントとリヤにセンサーがあり、車両の横または後ろにある障害物への衝突を回避するための警告表示および警告音を出します。さらにオプションのパーキング・アシストでは、走行車線と平行または直角に駐車するためのスペースを自動的に選択して駐車することができます。このシステムの最新型では、そのためのステアリング操作、加速および制動の操作、8 速ステップトロニック・トランスミッション装備車の場合は必要なシフト・チェンジ操作も車両側で行います。さらにパーキング・アシストでは、これに加えて縦列駐車した場所から自動的に車を出すこともできます。そのためにまずドライバーがすべき操作は、車を出したい方向のターン・インジケーターを作動させて、駐車場所から出る意思を表明します。これを受けてシステムは、予め入庫時に操作した操舵角度でドライバーが出庫できる位置まで、車両のステアリングを操作して後退させます。

パーキング・アシスタントの機能には、革新的なリバース・アシストも含まれます。このシステムは、駐車スペースから出るときや狭いスペースで操車する際にドライバーをサポートします。新型 BMW 3 シリーズ セダンに装備されるこのシステムは、これまで自動車業界では見られなかったタイプのサポートを提供し、自動運転へ向けた歩みをさらに前進させます。リバース・アシストは、立体駐車場や建物への入口といった狭くて見通しの悪い場所で、自動的に、したがって極めて快適な操作で後退させることができます。そのためにシステムは、最高 36 km/h の速度で最後に前進したルートのステアリング操作を記録します。その後システムは、最大 50 m の距離まで、以前に前進で通った走行ラインを正確にたどって後退させます。その際、ドライバーが集中すべきことは、アクセルとブレーキの操作と周囲の監視のみです。自動で後退させる場合の速度は、最高 9 km/h です。

操車および駐車時や出庫時の完璧な視界を提供するのは、オプションのリヤ・ビュー・カメラと特別装備品のパーキング・アシスタント・プラスに含まれる機能です。パーク・ビュー、パノラマ・ビュー、3D トップ・ビューでは、車両とその周囲を、さまざまな角度から 360 度画像としてコントロール・ディスプレイに表示します。さらにドライバーはリモート 3D ビュー機能を使用して、車両とその周囲の現在の 3D ライブ画像を自分のスマートフォンに送信させることができます。

表示および操作システム、 BMW コネクテッドおよびコネクテッド・ドライブ BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタ ントが初登場



新型 BMW 3 シリーズ セダンでは、初めて BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントが登場します。これは知性であり、デジタル・キャラクターであり、『Hey BMW』と呼びかけることができます。BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントにより、BMW グループは駆けぬける歓びに革命をもたらし、同時に新たな時代に向けてスタートします。新時代においては、車両の操作や機能、情報へのアクセスが、ますます言葉を通じて処理できるようになります。リモート・ソフトウェア・アップグレードを通じてシームレスに実行される定期アップデートにより、スマートフォンと車両は絶えず新しい機能や能力が付け加えられます。

BMW がデジタル・キャラクターに

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、日常的な処理や習性を学習し、その後は対応する状況に対処することができます。これによりドライバーをサポートし、ドライバーごとの好みを学習し、例えばシート・ヒーターの設定やナビゲーション・システムで頻繁に利用する目的地（例えば『自宅へ帰ります』）といったお気に入りの設定を熟知します。他のデジタル・アシスタントと異なる独自の特徴としては、ドライバーがデジタル・アシスタントに名前を（『チャーリー』とか『ジョイ』というように）付けられることです。これによってインテリジェント・パーソナル・アシスタントはより強い個性やキャラクターを獲得し、単にドライバーの音声入力を待つばかりでなく、いつもドライバーの横にいて、『Hey BMW、人生の意味って何かな？』というような問いに答える、気の置けない話し相手にもなります。インテリジェント・パーソナル・アシスタントは車両の機能を熟知しており、目的に合わせて操作できます。『Hey BMW、寒いね』と語りかければ、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、車内の温度を調整します。このシステムは絶えず技術面の開発が続けられ、将来はさらに多くの好みやお気に入りの設定を学習するでしょう。インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、どんなコマンドにも対処し、どんな質問にも答え、どんな設定にも対応できるように進歩して行きます。

いつでもそばに: デジタル BMW エキスパート

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントがあれば、いつでも車内に BMW の専門家がいますのと同じです。インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、多くの機能を解説すること（『ハイビーム・アシスタントとはどんな機能なの？』）ができ、現在の状態についての情報（『オイル・レベルは大丈夫かな？』）を提供し、不明なことがあれば（『何の警告メッセージがでているの？』）さらに助けてくれます。インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、ドライバーの好みの設定を熟知しており、満足度を高めるために複数の機能を組み合わせて作動させることもできます。例えば『Hey BMW、ちょっと疲れたな』と語りかけると、システムは活性化プログラムを開始させ、照明モードや音楽、温度を調整し、ドライバーの気分を活性化させます。

万能な助手

インテリジェント・パーソナル・アシスタントは万能な助手です。特に、日常生活でドライバーを(『Hey BMW、一番近いガソリン・スタンドを探して』といった形で)サポートします。ドライバー自身のカレンダーや連絡先を把握しているので、約束通りに目的地まで案内します。その際、このアシスタントは目的地付近の駐車場を探し、目的地までのルートの交通状況などを知らせたり、遅れないように出発の合図を送ったりしてくれます。また、頻繁に通う目的地も覚えています。また自分の BMW を移動するオフィスに仕立て、マイクロソフトの Office 365 やスカイプで接続することもできるので、必要に応じて電話会議を繋いだり、電子メールを読み上げたりもします。それだけでなく、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントはエンターテインメント・プログラムの専門家にもなります。ラジオで流れている曲の名前を教えてください、好みの音楽(『クラシック音楽が聴きたいな』)を流す放送局を見つけてくれます。

同乗者を副操縦士に任命できる

新型 BMW 3 シリーズ セダンでは、助手席および後席に乗る同乗者がドライブを補佐する副操縦士になることだって可能です。ドライバーの同意を前提としますが、コネクテッド・コマンドの機能を通じて同乗者の持つスマートフォンを車両に接続すれば、その後は選択した機能をコントロールできます。その後、副操縦士が BMW コネクテッド・アプリを使ったり、ナビゲーション・システムのルート・ガイドを読み込んだり、あるいは車内のエア・コンディショナーの設定を調整したりして、ドライバーの負担を軽減することもできます。

新型 BMW 3 シリーズ セダンの BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、2018 年 11 月以降、新しい BMW オペレーティング・システム 7.0 の一部として、またライブ・コクピット・プロフェッショナルとの組合せで搭載されます。有効期間は 3 年間で、その後は再更新が必要になります。コネクテッド・パッケージ・プロフェッショナルは、さらに充実した機能が追加されます。このサービスは、基本仕様として 23 の言語および市場の音声入力機能が導入されます。さらに米国、ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、スイス、オーストリア、ブラジル、日本の(2019 年 5 月以降は中国も含む)各国では、より自然な言葉使いで BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントの多くのインテリジェントな機能を利用できます。

BMW デジタル・キー:スマートフォンがキー代わり

BMW デジタル・キーでは、近距離通信(NFC)でスマートフォンを経由して新型 BMW 3 シリーズ セダンのロック/ロック解除ができるようになります。これにより従来の車両キーは必要なくなります。スマートフォンをドア・ハンドルに近づけてしばらく保持するだけで、車両のロックが解除されます。スマートフォンをワイヤレス充電トレイまたはスマートフォン・トレイに置くと、自動的にエンジンが始動します。BMW コネクテッド・アプリを経由すると、デジタル・キーはさらに高い柔軟性を発揮し、最大 5 名のドライバーでデジタル・キーを共有することができます。BMW デジタル・キーは NFC 機能を備えており、Android 8.0 以降のサムスン製 Galaxy スマートフォンで利用することができます。

新しいデジタル・サービスを使ったコネクテッド・ナビゲーション

「コネクテッド・ナビゲーション」に統合された各種デジタル・サービスを使用して、BMW に乗っていても、また車を降りても、シームレスに状況に応じたルート計画が得られるよう開発が進んでいます。新型 BMW 3 シリーズ セダンのドライバーは将来、さまざまなアプリから自車のナビゲーション・システムに直接、目的地を送信することができるようになります。主要な目的地は BMW コネクテッドに登録され、車両と同期されます。そのため、よく使う住所はどのデバイスからでも常に使用できます。特に便利な機能が、新しいパーキング・スペース・アシスタントです。これは目的地に到着する前の適切なタイミングで駐車場探しに関する様々な選択肢をドライバーに伝えます。このサービスには、最も近い立体駐車場の情報や、目的地の近くで駐車スペースを見つけることができる可能性が特に高いルートの提案が含まれます。その際、既存のサービスであるオンストリート・パーキング・インフォメーションやパークナウは、新しいアシスタント機能として自動的に組み込まれます。

適切な情報を適切なタイミングで: BMW オペレーティング・システム 7.0 による表示と操作

新型 BMW 3 シリーズ セダンでは、メーター・パネルとコントロール・ディスプレイの表示を連携させるための新しいデザインによって、また拡張機能によって、直感的な操作がさらに改良され、さらにドライブに集中できるようになりました。標準装備の BMW ライブ・コックピットには、iDrive 操作システム、タッチ・スクリーン機能を備えた 8.8 インチのコントロール・ディスプレイ、そして 5.7 インチ・カラー・ディスプレイを組み込んだブラック・パネル仕様のメーター・パネルが組み合わされます。オプションの BMW ライブ・コックピット・プラスでは、これらに加えてタッチ・コントローラー、ナビゲーション・システム、データ転送用 USB 端子 2 個、WiFi インターフェースを備えており、またアップル・カープレイにも対応しています。

フル・デジタル式の表示および操作システムとパッケージで提供される最大限のコネクティビティを提供するのが、オプションの BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルです。このパッケージには、ステアリング・ホイールの向こう側に 12.3 インチ高解像度メーター・パネルを装備し、10.25 インチのコントロール・ディスプレイが組み合わされます。この他にも、学習型ナビゲーション・システム、容量 20 GB のハードディスク記録式マルチメディア・システムが組み合わされます。

BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルも、新型 BMW 3 シリーズ セダンに採用された BMW オペレーティング・システム 7.0 の機能を活用できます。最新世代のこのオペレーティング・システムはフル・デジタル・ディスプレイを採用しており、最適な注意制御（アテンション・コントロール）ができるように、ドライバーごとの要求をより強く重視しています。わかりやすい表示や構成、またカスタマイズ可能な表示は、ドライバーに常に適切な情報を、適切なタイミングで提供できるように考えられています。こうすることで、メーター・パネルの中央に配置された新デザインのインフォメーション・ディスプレイには、ナビゲーションの地図を表示できます。コントロール・ディスプレイは最大 10 ページのメイン・メニューが表示でき、各メイン・メニューには 2～4 個のライブ・コンテンツ式パッド（タイル）が並べられます。コンテンツと表示をさらにカスタマイズすることができ、たとえば、システムで表示される車両イラストを、実際のボディ・カラーや装備に合わせることができます。また、ドライバーと車両間の直感的なマルチモーダル・インタラクションも、さらに最適化されました。コントロール・ディスプレイ内のグラフィックは操作方法に合わせて変化し、音声入力も、より自然な言葉使いでできるように改善されています。特別装備品の BMW ジェスチャー・コントロールは 2 つのジェスチャーが追加され、合計 7 つのジェスチャーを使用できます。ドライバーは状況に応じて、使い慣れた iDrive コントローラーの他、ステアリング・ホイールの操作部、タッチ操作、音声入力、ジェスチャー・コントロールのいずれからでも操作できます。

BMW オペレーティング・システム 7.0 の表示および操作コンセプトは、柔軟にデジタル・サービスを追加できるようにデザインされています。お客様は車両を注文する時点で、個々のニーズに応じて利用可能な基本サービスが異なる 3 つのライブ・コックピット・バリエーションのうちの 1 つを選択できます。その後、新たなサービスや既存のサービスは、それぞれのライブ・コックピット・バリエーションに応じていつでも追加することができます。BMW のお客様は将来、追加したいデジタル・サービスをコネクテッド・ドライブ・ストアで注文し、リモート・ソフトウェア・アップグレードを通じて車両にインストールできます。3 種類のライブ・コックピット・バリエーションをベースとするサービスは、有効期間が 3 か月間、1 年間、3 年間の中から選択できます。

常に最新の状態：リモート・ソフトウェア・アップグレード

リモート・ソフトウェア・アップグレードにより、新型 BMW 3 シリーズ セダンは常に最新のソフトウェア・レベルに保たれます。すべてのアップデートはワイヤレスで行われ、スマートフォンから BMW コネクテッド・アプリ経由で行うか、あるいは車載の SIM カードを通じて直接車両にダウンロードすることができます。インストール作業は通常のスマートフォン操作と同様に簡単です。アップグレードには安全性の最適化や品質の最適化、新しいソフトウェア・サービス、車両機能の改善に至るまで様々なコンテンツが含まれます。この方法により、お客様は後から機能を追加したり解除したりすることができます。また、BMW サービス・パートナーに依頼してアップデートをする必要がなくなるため柔軟性が高く、時間の節約にもなります。